

第3学年社会科学学習指導案

1 小单元名 「八幡祭りと帝釈天」

2 小单元の目標と観点別評価規準

(1) 小单元の目標

○地域の人々によって受け継がれてきた地域の祭りについて、それらを保存し継承してきた人々の工夫や努力を調べ、そこに込められる地域の人々の願い、保存・継承し続けることの大切さを考える。

(2) 小单元の観点別評価規準

評価の観点	評価規準	学習過程の どこで
ア 社会的事象への 関心・意欲・態度	① 地域の人々によって受け継がれてきた神社の祭りに関心を持ち、意欲的に調べようとしている。 ② 地域社会の一員として地域の祭りを保存・継承することの大切さを考えようとしている。	つかむ ふかめる
イ 社会的な 思考・判断・表現	① 地域の人々によって受け継がれてきた神社の祭りについて、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。 ② 長い間続けられている地域のまつりを守ってきた人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを基に、保存・継承することの大切さを考え、表現している。 ③ 長い間続けられているまつりを受け継いだり、新しいまつりを行ったりしながら、地域のさらなる発展を願う人々の思いを考え、表現している。	つかむ まとめる ふかめる
ウ 観察・資料活用 の技能	① 写真、文書などの資料や地域の話などから、地域の神社の祭りについて必要な情報を集め、読み取っている。 ② 地域の神社の祭りについて、調べたことをまとめている。	調べる 調べる
エ 社会的事象につい ての知識・理解	① 地域の人々によって受け継がれてきた神社の祭りの様子を理解している。 ② 地域の神社の祭りを守ってきた人々の工夫や努力、願いについて理解している。 ③ 地域の神社の祭りには、大切に受け継いできた人々の思いや願いが込められており、自分たちの町に受け継がれた伝統を守るために努力している事を理解している。	調べる 調べる まとめる

3 小单元について

(1) 学習指導要領との関連

本小单元は学習指導要領社会編 第3学年及び第4学年の内容(5)イに基づいて設定したものである。

学習指導要領 内容

(5) 地域の人々の生活について、次のことを見学、調査したり年表にまとめたりして調べ、人々の生活の変化や人々の願い、地域の人々の生活の向上に尽くした先人の働きや苦心を考えるようにする。

イ 地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事

本小单元では、「地域の人々が受け継いできた文化財や年中行事」として、葛飾区柴又の地域で行われている「柴又八幡祭り」と「寅さんまつり」を取り上げる。柴又八幡祭りが1300年以上も続いている祭りであることや、寅さんまつりが柴又地域の特色を生かした祭りであることを学習することによって、地域には古くから受け継がれてきた祭りがあるとともに、これから受け継いでいく祭りもあることについて考えられるようにしていく。

(2) 教材について

本小单元では、地域の人々が受け継いできた年中行事として、「柴又八幡神社の祭り」と「寅さんまつり」を取り上げた。

本小单元で扱う柴又八幡神社は、宮司さんによると、今から約1300年前以上に創建されたと言われている区内最古の神社である¹。また、古墳(6世紀後半に築造された直径20～30mの前方後円墳)上に鎮座する神社であり、古墳からは埴輪のほか、直刀・馬具・鉄鏃・須恵器なども出土している。平成14年には、古墳の周りにはりめぐらされていた溝から人物埴輪が出土し、「寅さん埴輪」として親しまれている。



寅さん埴輪

柴又という地名が歴史史料の中で初めて登場するのは、「養老五年(721)下総葛飾郡大嶋郷戸籍」である。この中に「嶋侯」という地名があり、現在の葛飾区柴又を中心とする地域であったと考えられている。また、大嶋郷戸籍には、「孔王部刀良」(あなほべのとら)、「孔王部佐久良売」(あなほべのさくら)という名前もあり、映画よりも前に、トラとサクラが実在していたと言われている。²

柴又八幡神社のお祭りは、宮司さんによると、神社の創建と同時に祭りが行われるようになり、約1300年以上にわたって続いているものである。お祭りは、毎年10月に例大祭が行われ、神獅子と呼ばれる疫病除けの信仰と結び付いている獅子舞が奉納される³。この神獅子は、昭和53年に葛飾区指定無形民俗文化財として指定されている。

お神輿が出るのは3年に一度であり、約1000人の担ぎ手が2台の神輿を担いでいる。このお祭りの運営には、宮司を中心として、地域の役員など約80人の人が関わっている。

¹ 『柴又八幡神社古墳』葛飾区郷土と天文の博物館 p12 には、「創立年代や由来は明らかでないが、別当の真勝院の創立が和同元年(708)と言いつたえられていることから、かなり古い神社である」と書かれている。

² 『かつしかの地名と歴史』葛飾区郷土と天文の博物館(2009年)

³ 獅子舞は、御前舞からはじまり、花かかち、飛びかかち、笹かかち、弓かかち、返りかかち、綱かかち、太刀の舞等が続く。午前10時頃ちから午後7時頃まで行われる。『葛飾区指定文化財 旧7カ所町村別ポケット版』葛飾区教育委員会(1989年)

「寅さんまつり」は、34年前に「男はつらいよ」の映画にちなみ、盆踊り曲「寅さん音頭」が出来たのをきっかけに始まったおまつりである。毎年8月に柴又帝釈天境内で開催され、盆踊り大会や柴又小の児童による鼓笛パレードなどが行われている。3日間で約3000人～5000人の人々が境内を訪れ、寅さんまつりを楽しんでいる。

このように、柴又八幡神社の祭りは、五穀豊穡や人々の幸せなどを願って、昔も今も地域の人々によって長く受け継がれてきた。また、「寅さんまつり」は、地域の方々の心と心の絆がより一層深まり、柴又地域が「我が街柴又、心のかよう街」として広く愛され親しまれることを願って、自治会の協力のもと、寅さんまつり大会委員会が中心となってまつりが行われている。⁴

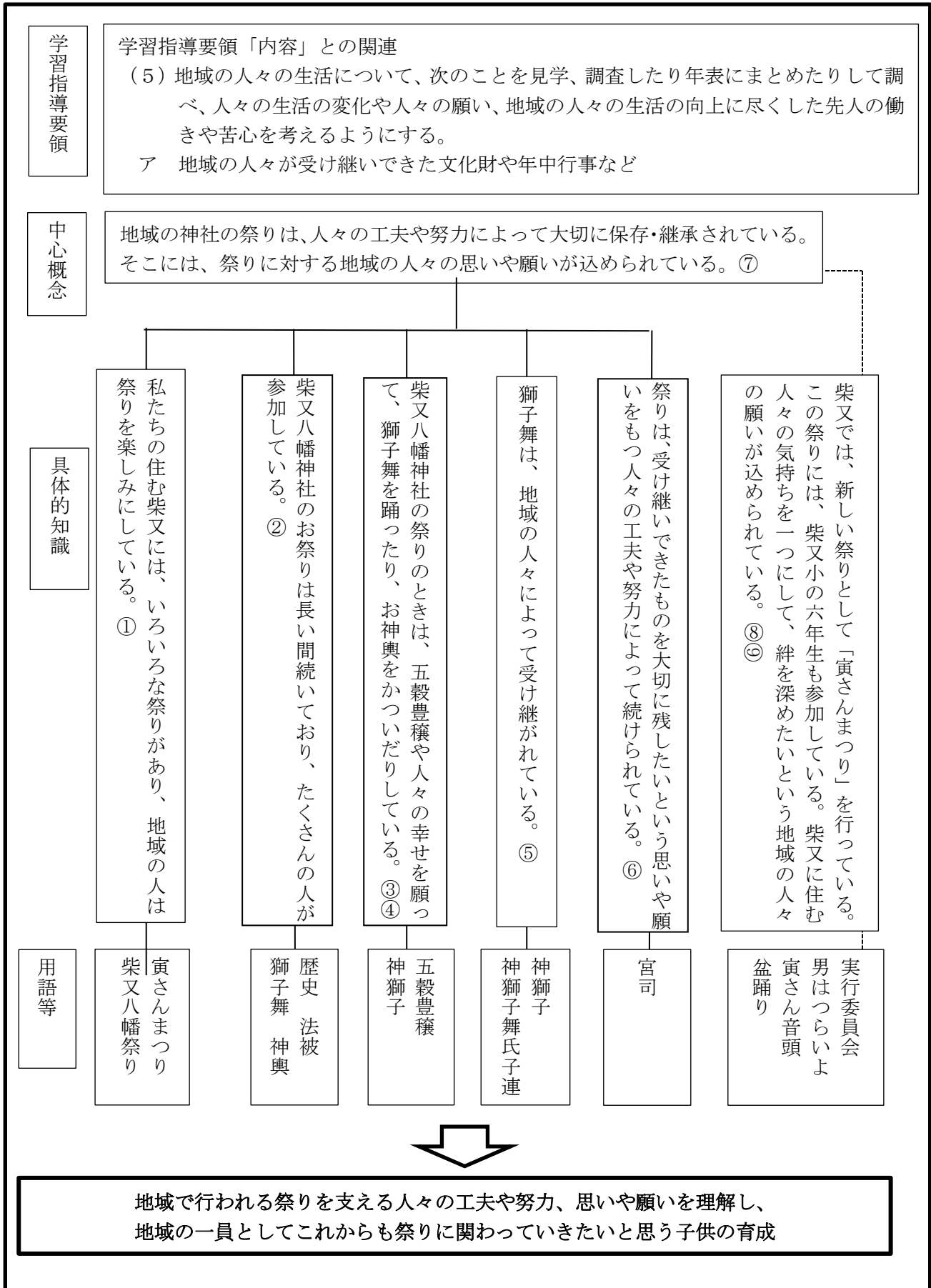
これらの地域の祭りを扱うことによって、自分たちが住む地域には、長い間続いている祭りがあり、祭りを受け継ごうとする人々の思いや願いによって、今もなお、祭りが続けられていることを理解させたい。そして、古くから続く祭りだけでなく、新しいまつりを行うことによって、柴又地域のさらなる発展を願う、地域の人々の思いにも気付かせたい。このような人々の姿を通して、地域への見方を深め、地域の一員としての自覚を育てることができると考えた。

(3) 児童の実態

省略

⁴第33回寅さんまつり計画書には、寅さんまつりの趣旨として「寅さんまつりは、柴又地域の皆さんが交流を行いながら、今は忘れられようとしている「下町特有の人情や情緒」を現代の若者に伝えようとして行うものです。このまつりを通じ、地域の方々の心と心の絆がより一層深まり、柴又地域が「我が街柴又、心のかよう街」として広く愛され親しまれることを願っております。」と書かれている。

4 知識の構造図と育てたい子供の姿



5 学年の研究主題との関連

3年部会研究主題

よりよい地域にしたいと願う子供の育成
～自分と地域の人々とのかかわりをとらえ、考えを深める指導の工夫～

(1) 社会認識を深め、参画意識を培う教材の工夫

① 地域の特色を実感でき、地域社会に対する関心を高めることができる教材

長い間受け継がれてきた柴又八幡祭りとは、33年前から始まった寅さんまつりを教材化する。自分たちの住む柴又ならではの特色を生かした祭りを教材化することによって、興味関心をもって学習を進めることができると考えた。

② 地域の事象や人々と自分とのつながりが捉えられ、地域の人々が社会を形成している姿を実感できる教材

つかむ段階では地域の方のお話、調べる段階では祭りの運営の中心となっている柴又八幡神社の宮司さんのお話、ふかめる段階では寅さんまつりの実行委員会の方のお話を教材化する。祭りに関わる人々の姿を通して、地域の方々のお祭りに対する思いや願いを共感的にとらえ、自分とのつながりを感じることができるのではないかと考えた。

③ よりよい地域とのかかわりを考えるきっかけになる教材

本小単元を通して、自分たちの住む柴又は古くから人々が住み続けてきた地域であり、近年では寅さんの舞台として親しまれている地域であることをとらえさせた上で、ふかめる段階で地域の一員として自分にできることを考えさせる。このことにより、進んで地域とかかわっていきたいという参画意識につながるのではないかと考えた。

(2) 社会認識を深め、参画意識を培う指導の工夫

① 学習意欲を高める導入の工夫

つかむ段階では、地域で行われているお祭りについての生活経験を振り返り、地域で様々なお祭りが行われている事を知る。その中でも柴又八幡神社のお祭りが1300年以上も続けられてきたという事実を提示する。1300年という驚きから、「どのようなお祭りなのだろう」という問いをもたせ、祭りについて調べてみたいという学習意欲を引き出し、学習問題を設定することができると思った。

② 繰り返し観察・見学・調査等の体験的な活動の工夫

調べる段階では、神獅子舞氏子連の方々にゲストティーチャーとして来ていただき、獅子舞の鑑賞・体験を行う。目の前で獅子舞を鑑賞することにより、獅子舞に込められている人々の願いを理解し、地域への愛着を一層深めることができるのではないかと考えた。

③ 学び合い、考えを深め合う場の設定

これまでの学習において、個別で学んだ事を、グループで共有し、学級全体で話し合う学習を進めてきた。様々な学習形態を設定することで、自分の考えを伝えたり、友達の考えと比べながら聞いたりすることができるようになり、自分の考えを深めることができると考えた。

(3) 社会認識を深め、参画意識を培う評価の工夫

① 学習感想の分析

毎時間、本時のめあてに対する学習感想を書く。分かったことや、学習感想などを書くことによって、学習内容の理解や思考の深まりを評価し、次時の学習内容に生かす。

② 小単元を通しての振り返り

まとめる段階で、学習問題に対する自分の考えをキャッチフレーズにまとめる。これまでの学習をもとに、地域のお祭りについて短い文でまとめ、理由を明確にすることで、中心概念に迫れているかどうか評価する。またふかめる段階では、地域の一員として自分にできることを考える。地域への愛着や、よりよい地域にしたいという願い、地域とのかかわり方などが表出されているかどうかを読み取り、評価する。

6 小単元の指導計画と評価計画（全9時間）

	指導のねらい	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	□資料 ※留意点 ◇評価
つかむ	①地域の祭りに参加したり、見たりした経験を想起し、地域の祭りに関心をもつ。	<div data-bbox="523 293 1394 344" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">お祭りについて、知っていることを話し合おう。</div> <p>○地域のお祭りに参加したり、見たりした体験を想起し、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又八幡神社のお祭りでお神輿を見た。 ・ 寅さんまつりで、盆踊りを踊った。 ・ 寅さんまつりで、柴又小の6年生が鼓笛パレードをしていた。 <p>○地図や写真資料を見て、自分たちの住む地域には、いろいろなお祭りがあることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又八幡神社でお祭りをやっている。 ・ 帝釈天では、宵まつりを行っている。 ・ 江戸川の河川敷では、さくらまつりがある。 <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又には、いろいろなお祭りがあることがわかった。季節に合わせて、みんなが楽しめるお祭りを行っている。 	<p>□写真資料 □柴又の地図</p> <p>※柴又地域の地図に、まつりが行われている場所を示し、自分たちの住む地域にはいろいろなお祭りがあることを実感させる。</p> <p>◇地域の祭りに関心を持ち、進んで調べようとしている。【ア①】（発言・ノート）</p>
	②柴又八幡神社のお祭りについて知り、学習問題を見いだす。	<div data-bbox="523 1115 1394 1167" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">柴又八幡神社のお祭りの様子を見て、学習問題をつくろう。</div> <p>○柴又八幡神社の祭りの写真を見て、気付いたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人で賑わっている。 ・ みんなでお神輿を担いでいる。 ・ お面を被って踊っている。 <p>○柴又八幡神社のお祭りが、1300年以上続いてきたことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又八幡神社のお祭りは1300年以上続いてきた。 <p>○柴又八幡神社のお祭りについて知りたいことや分からないことを整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ なぜ長く続いているのか。 ・ 誰がお祭りを行っているのか。 ・ 何人くらいの人に参加しているのか。 ・ なぜおみこしを担ぐのか。 ・ なぜ獅子舞を踊るのか。 	<p>□写真資料</p> <p>※普段の様子とお祭りのときの様子を比べて、違いに気付かせる。</p> <p>※写真資料を基に、お祭りの様子について共通理解を図り、調べる視点を明確にする。</p> <p>□等尺年表（テープ）</p> <p>※柴又小の78年の歴史と比較し、1300年の長さを実感できるようにする。</p>

	○学習問題を見いだす。	
	学習問題 柴又八幡神社のお祭りは、どんなお祭りなのだろうか。	
	<p>○学習問題に対する予想を考え、調べる計画を立てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が受け継いできたから。 ・地域の人が続けたいと思ったから。 ・みんなが楽しめるお祭りだから。 <p>(計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴又八幡神社はどんな神社なのか ・だれが何のために、神輿や獅子舞を行っているのか。 ・どうして長くお祭りが続いてきたのか。 <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴又八幡神社のお祭りは、1300年以上も続いているお祭りで、たくさんの方が来ることが分かりました。どんなお祭りなのか、詳しく知りたいです。 	<p>◇柴又八幡神社のお祭りについて、学習問題や予想、学習計画を考え、表現している。【イ①】(発言・ノート)</p> <p>※柴又八幡神社のお祭りについて、家の人にも聞いてくるように伝える。</p>
調べる	<p>③獅子舞を鑑賞し、獅子舞を受け継いでいる人々の思いを知る。</p>	柴又八幡神社の獅子舞は、だれが、どのように行っているのだろうか。
	<p>○獅子舞のビデオを見ながら、ゲストティーチャーのお話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3匹の獅子が舞う。悪除けの神事として奉納。 ・獅子舞は、地域の人が受け継いでいる。 <p>○獅子舞について疑問に思っていることや、詳しく調べたいことについて質問する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつから獅子舞をやっているのか。 ・なぜ長く続いているのか。 ・大変なことは何か。 ・お祭りにどのような思いで参加しているか。 <p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞を受け継いでいる人々は、柴又地域の発展を願って、みんなを喜ばせようという思いで、お祭りに参加していることがわかった。今年のお祭りは、獅子舞を見に行きたい。 	<p>□ゲストティーチャーSさん他5名くらい</p> <p>※祭りをを行うためには、多くの方が関わっていることが理解できるようにする。</p> <p>◇獅子舞について、必要な情報を聞き取り、記録している。【ウ①】(ノート)</p>
	<p>④柴又八幡神社に見学に行き、神社の歴史やお祭りの内容について調べる。</p>	柴又八幡神社に見学に行き、神社の様子を調べよう。
	<p>○柴又八幡神社に見学に行き、神社の様子を調べる。</p>	<p>□ゲストティーチャーSさん</p> <p>※Sさんに見学に同行し</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 神社の下に古墳がある。 ・ 神楽殿がある。 ・ 普段はとても静かな神社。 <p>○ S さんのお話を聞き、お祭りで使われるお神輿や獅子頭を見せていただく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又八幡神社は区内で一番古い神社。 ・ 柴又八幡神社のお祭りでは、獅子舞が奉納される。 ・ 3年に一度、お神輿が出る。 	<p>ていただき、神社の歴史やお祭りについて説明していただく。</p> <p>※ Sさんと事前に打ち合わせを行い、学習のねらいにそって話していただくようにする。</p> <p>◇ 柴又八幡神社の祭りの様子を理解している。</p> <p>【エ①】（ノート）</p>
<p>⑤ 柴又八幡神社の歴史やお祭りの内容についてまとめる。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">柴又八幡神社のお祭りについて、分かったことをまとめよう。</div> <p>○ 柴又八幡神社の歴史やお祭りの内容について分かったことをまとめる。</p> <p>(神社について)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 葛飾区で一番古い。 ・ 1300年以上前からある。 <p>(お祭りについて)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1300年以上前から、お祭りが行われている。 ・ 悪い病気を追い払うため獅子舞を奉納する。 ・ 3年に一度、お神輿が出る。 ・ 1000人以上の担ぎ手が、交代でお神輿をかついで、神様に感謝の気持ちを伝えている。 <p>○ 学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又八幡神社のお祭りは、お神輿や獅子舞があり、1300年以上続いている。お祭りには、たくさんの方が関わっており、みんなで協力してお祭りを行っている。 	<p>□ 柴又八幡神社のお祭りの写真・映像</p> <p>※ 神社に関することと、お祭りに関することの項目ごとにまとめていく。</p> <p>◇ 柴又八幡神社の祭りの様子を理解している。</p> <p>【エ①】（ノート）</p>
<p>⑥ 祭りに関わる人々の思いや願いを基に、柴又八幡神社のお祭りが長く続いてきた理由を考える。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">柴又八幡神社のお祭りは、どうして長く続いているのだろうか。</div> <p>○ Sさんが獅子舞を続けている理由を考え、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなが楽しみにしているから。 ・ 地域の人たちの気持ちが一つになるから。 <p>○ 資料から、柴又八幡神社の宮司さんがお祭りを続けている理由を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 昔の人から受け継いできたお祭りだから、自分も未来にお祭りを残していきたい。 	<p>※ これまでの学習を基に考えさせる。</p> <p>□ 柴又八幡神社宮司さんのお話（資料）</p> <p>◇ 地域の祭りについて、調べたことをまとめている。【ウ②】（発言・ノー</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・他の地域にはない、自慢できるお祭りだから。 ○柴又八幡神社のお祭りが長く続いてきた理由をノートに書き、発表する。 ・昔の人も今の人も、柴又の人たちがお祭りを続けたいと思っていたから。 ・みんなの思いが詰まったお祭りを、やめてはいけないから。 ○学習感想を書く。 ・柴又八幡神社のお祭りには、昔も今も、お祭りに関わっているたくさんの人の思いがこめられていることがわかった。 ・地域みんなが協力しているから、柴又八幡神社のお祭りは長く続いてきたことがわかった。 	<p>ト)</p> <p>◇地域の神社の祭りを守ってきた人々の工夫や努力、願いについて理解している。【エ②】(発言・ノート)</p>
<p>まとめ</p>	<p>⑦柴又八幡神社のお祭りのよさを伝えるキャッチフレーズを作る。 (本時①柴又小 3-1)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">柴又八幡神社のお祭りのよさを伝えるキャッチフレーズを作ろう。</div> <ul style="list-style-type: none"> ○柴又八幡神社のお祭りは、どのようなお祭りなのか話し合う。 ・悪い病気を追い払うために獅子舞を奉納したり、お神輿を出して五穀豊穰を祈ったりしている。 ・柴又八幡神社のお祭りは、地域の人々が、みんなの幸せを願って、歴史と伝統をずっと受け継いできた。 ○柴又八幡祭りに関するアンケート結果から、お祭りに行ったことがある児童が少ないことを知る。 ・3年生全体の中で、お祭りに行ったことがあるのは13人。 ○キャッチフレーズを書く。 ・1300年の歴史を受け継ぐ柴又八幡神社のお祭り ・人々の幸せ願い、悪い病気を追い払う、柴又八幡神社の獅子舞おどり ○学習感想を書く。 ・これまでお祭りをただ見ているだけだったが、たくさんの人の思いが込められていることがわかった。これからは、みんなが幸せになりますようにと願いながら、お祭りに参加していきたい。 	<p>□柴又八幡祭りに関するアンケート結果</p> <p>※多くの児童がお祭りに行ったことがないという事実を提示し、お祭りのよさを伝えたいという気持ちを高める。</p> <p>※キャッチフレーズの根拠も書かせる。</p> <p>◇柴又八幡神社の祭りを保存し継承してきた人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付けて、保存し継承することの大切さを考え、表現している。【イ②】</p>

<p>ふかめる</p>	<p>⑧柴又の新しいお祭りである「寅さんまつり」について調べ、祭りに関わる人々の願いや思いを知る。 (本時②都小社 3-2)</p>	<p>寅さんまつりには、どんな願いが込められているのだろうか。</p> <p>○寅さんまつりが始まったきっかけを知る。 ・34年前に「寅さん音頭」が作られたことをきっかけに始まった。</p> <p>○寅さんまつりに込められた願いを読み、分かったことを発表する。 ・たくさんの人に来てほしい。 ・誰でも気軽に参加してほしい。 ・心が一つになり、絆が深まってほしい。 ・柴又はいいところだと思ってほしい。</p> <p>○柴又八幡祭りに関わる人々と、寅さんまつりに関わる人々に共通する思いや願いを考え、話し合う。 ・人々の幸せを願い、協力して行っている。 ・これからも祭りを続けていきたいという強い気持ちがある。</p> <p>○学習感想を書く。 ・寅さんまつりも人々の幸せを願い、ずっと続いていくお祭りになるように努力していることが分かった。 ・柴又はとて素晴らしいところだと思った。</p>	<p>□寅さんまつりの写真</p> <p>□寅さんまつり大会委員会 S さんの話 (資料)</p> <p>※どちらの祭りも、よりよい地域になるように、人々のつながりやまとまりを大切にしながら、協力しあって祭りを続けており、地域の人の思いは同じであることに気付かせる。</p> <p>◇寅さんまつりを運営している人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付けて、保存し継承することの大切さを考え、表現している。【イ②】</p>
	<p>⑨柴又に住む地域の一員として、自分にできることを考える。</p>	<p>柴又に住むわたしたちができることを考えよう。</p> <p>○柴又はどんなところだと言えるか話し合う。 ・みんなで協力して、いろいろなお祭りを続けているところ ・歴史と伝統を大切にしているところ ・柴又が好きな人が多いところ</p> <p>○これまでの学習をもとに、考えたことを書き、話し合う。 ・自分も地域のお祭りに参加し、柴又をもっといいまちにしていきたい。 ・6年生になったら、鼓笛パレードに参加して、お祭りを盛り上げていきたい。 ・お祭りの歴史を、お家の人にも伝える。 ・大人になったら、お神輿を担いだり、お祭りの手伝いをしたりして、お祭りを支えていきたい。</p>	<p>□柴又地域の地図とお祭りの年表</p> <p>※これまでの学習から、地理的な見方と時間的な見方をもとに考えさせる。 ※個人で考えてから、グループで共有し、学級全体で話し合う。</p> <p>◇地域社会の一員として地域の祭りを保存・継承することの大切さを考えようとしている。 【ア②】(発言・ノート)</p>

7 本時の指導（7／9時） 1組

(1) 本時のねらい

これまでの学習を基に、柴又八幡神社のお祭りのよさを伝えるキャッチフレーズを作る。

(2) 展開

	○ 主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	□ 資料 ※ 留意点 ◇ 評価
つかむ(5分)	<p>○柴又八幡神社のお祭りについて振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お神輿や獅子舞を行っている。 ・地域の人が歴史と伝統を受け継いできたお祭り。 <p>○柴又八幡祭りに関するアンケート結果から、お祭りに行ったことがある児童が少ないことを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3年生全体の中で、お祭りに行ったことがあるのは13人。 ・お祭りのよさを伝えたら、お祭りに行く人が増えるのではないか。 <p>○本時のめあてをつかむ。</p>	<p>□柴又八幡祭りの写真</p> <p>※これまでの学習を基にして、学習問題を解決する。</p> <p>□柴又八幡祭りに関するアンケート結果</p> <p>※多くの児童がお祭りに行ったことがないという事実を提示し、お祭りのよさを伝えたいという気持ちを高める。</p>
	柴又八幡神社のお祭りのよさを伝えるキャッチフレーズを作ろう。	
調べる(30分)	<p>○柴又八幡祭りのよさを、校内の児童に伝えるキャッチフレーズを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『柴又の歴史と伝統を受け継ぐ柴又八幡祭り』 (理由) 柴又八幡祭りは、1300年の間、ずっと柴又の人たちが受け継いで、続けてきたものだから。これからも伝統を守って、お祭りを続けていってほしい。 ・『人々の幸せ願い、悪い病気を追い払う、柴又八幡神社の獅子舞おどり』 (理由) 獅子舞を踊ると、悪い病気がなくなるとSさんが話していたから。柴又八幡神社の獅子舞は、柴又の人達が、自分たちの地域のために続けてくれているから、たくさんの人に獅子舞を知ってほしい。 <p>○グループで交流し、お互いのキャッチフレーズの良い点を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞を行う理由が書いてあるので、お祭りのよさがみんなに伝わると思う。 ・1300年というお祭りの歴史を伝えると、みんな驚いて、どんなお祭りなのだろうと知りたくなると思う。 <p>○キャッチフレーズを発表する。</p>	<p>※キャッチフレーズを作った理由も書かせる。</p> <p>※キャッチフレーズが思いつかない児童には、掲示物やこれまでのノートを確認して振り返るようにさせる。</p> <p>◇柴又八幡神社の祭りを保存し継承してきた人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付けて、保存し継承することの大切さを考え、表現している。 【イ②】</p> <p>※自分が作ったキャッチフレーズとその理由を発表する。</p> <p>※グループで自分のキャッチフレーズを紹介した後、発表者を決める。</p>

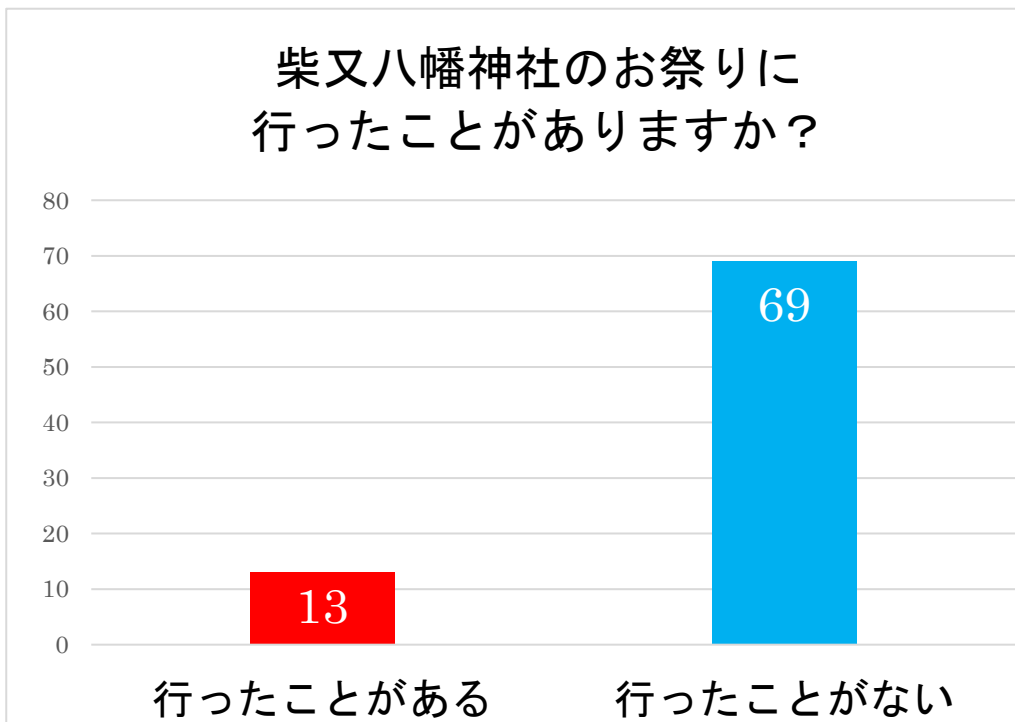
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○学習感想を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴又八幡神社のお祭りは、1300年も続いてきたお祭りなのに、お祭りに行ったことがある人が少なくてびっくりした。どんなお祭りなのかみんなに知らせれば、もっとたくさんの方がお祭りに行くようになると思う。 ・柴又八幡神社のお祭りは、獅子舞もお神輿もたくさんいいところがあるので、お家の人にお祭りのことを伝えたい。 ・寅さんまつりやさくらまつりなど、他のお祭りも、いいところがたくさんあると思う。 	<p>※これまでの学習を基にして、自分の考えを書くようにさせる。</p>
----------------------	--	--------------------------------------

(3) 板書計画

<p>学習問題 柴又八幡神社のお祭りは、どんなお祭りなのだろうか。</p>		
<p>めあて 柴又八幡神社のお祭りのよさを伝えるキャッチフレーズを作ろう。</p>		<p>学習感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人の思いが込められていることがわかった ・次のお祭りは、自分も参加したい。 ・柴又の他のお祭りにはどんな願いがあるのか知りたい。
<p>写真</p> <ul style="list-style-type: none"> ・獅子舞 ・お神輿 ・宮司さん ・獅子舞の人→みんなで協力 ・歴史と伝統を受け継ぐ。 	<p>アンケート結果</p> <p>行ったことがある人少ない</p>	<p>キャッチフレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴又の歴史と伝統を受け継ぐ柴又八幡祭り ・人々の幸せを願う、八幡神社の獅子舞おどり ・お神輿はみんなの気持ちを一つにする ・みんなの協力で行われている八幡神社のお祭り

(4) 資料

①アンケート結果



7 本時の指導（8／9） 2組

（1）本時のねらい

「寅さんまつり」に込められた願いを理解し、地域の祭りを続けていくことの大切さを考える。

（2）展開

	○主な学習活動 ・ 予想される児童の反応	□資料 ※留意点 ◇評価
つかむ (10分)	<p>○前時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又八幡神社のお祭りには、たくさんの人の思いや願いがこめられているので、お祭りのよさをみんなに知ってほしい。 <p>○寅さんまつりについて知っていることを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 柴又帝釈天で行われ、盆踊り大会やじゃんけん大会がある。 ・ 柴又小の6年生が鼓笛パレードをする。 <p>○寅さんまつりが始まったきっかけを知り、本時のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 34年前に「寅さん音頭」ができたことをきっかけに、帝釈天の参道の商店街の人が中心となって始まった。 	<p>※前時の学習感想から、柴又八幡神社以外のお祭りも、人々の願いや思いが込められていることに気付かせる。</p> <p>□寅さんまつりの写真 ※写真資料を基に、お祭りの様子について共通理解を図る。</p> <p>□等尺年表（テープ）</p>
	<p>寅さんまつりには、どんな願いが込められているのだろうか。</p>	
調べる (25分)	<p>○「寅さんまつり」に込められた願いを予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ みんなで楽しめるお祭りをしたい。 ・ 盆踊り大会をして、小学生も大人もみんなで盛り上がりたい。 <p>○寅さんまつり実行委員会の方のお話を読み、分かったことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの人に来てほしい。 ・ 誰でも気軽に参加してほしい。 ・ 心が一つになり、絆が深まってほしい。 ・ 柴又はいいところだと思ってほしい。 <p>○寅さんまつりに込められた願いと、柴又八幡神社のよさを伝えるキャッチフレーズを見て、両方のお祭りに共通する思いや願いを考え、話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ どちらの祭りも、柴又地域の人々の幸せや、地域のまとまりを願って行われている。 ・ どちらも、これからも祭りを続けていきたいという強い気持ちがある。 ・ どちらも、地域の人々が協力し合って祭りを続けている。 	<p>□寅さんまつり大会委員会 S さんの話（資料）</p> <p>※どちらの祭りも、よりよい地域になるように、人々のつながりやまとまりを大切にしながら、協力しあって祭りを続けていることに気付かせる。</p> <p>※個人で考えた後、グループで話し合う。</p> <p>◇寅さんまつりを立ち上げた人々の工夫や努力と、地域の人々の願いを関連付けて、保存し継承することの大切さを考え、表現している。【イ②】</p>

<p>まとめ (10分)</p>	<p>○学習感想を書き、発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寅さんまつり実行委員のSさんは、みんなの心が一つになることを願って、お祭りを続けていることが分かった。 ・寅さんまつりに行ったことはあったけど、こんなに願いが込められているとは知らなかった。柴又は、とてもいいところだと思った。 ・寅さんまつりも、柴又八幡神社のお祭りのように、ずっと続いてほしい。 	<p>※形は違ってもお祭りに込められた思いは同じであり、そのようなお祭りがある自分たちの地域についてどのように思い、どのように関わっていくのか問いかけて、次時へとつなぐようにする。</p>
----------------------	---	--

(3) 板書計画

めあて 寅さんまつりには、どんな願いがこめられているのだろうか。

寅さんまつり 写真	寅さんまつり 写真	<p>予想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寅さんを知ってほしい ・みんなに楽しんでほしい 	<p>柴又八幡神社のお祭りのよさを伝えるキャッチフレーズ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴又の歴史と伝統を受け継ぐ柴又八幡祭り ・人々の幸せを願う、八幡神社の獅子舞おどり ・お神輿はみんなの気持ちを一つにする 	<p>似ていること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・柴又地域の人々の幸せを願う ・これからも祭りを続けていきたいという強い気持ち ・地域の人が頑張っている ・地域の人々が協力している
<ul style="list-style-type: none"> ・柴又帝釈天 ・盆踊り大会 ・鼓笛パレード(6年生) ・34年前「寅さん音頭」 <p>柴又小 78年</p> <p>寅さん 34年</p> <p>まつり</p>		<p>分かったこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・たくさんの人に来てほしい ・心が一つになってほしい ・きずなを深めたい ・ずっと続けていきたい 	<p>Sさんの 写真</p>	<p>学習感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・寅さんまつりも、地域の人々の幸せを願って続けられている。

(4) 資料

①寅さんまつり大会委員会 Sさんのお話

「寅さんまつり」は、今から34年前に、ぼんおどり曲「寅さん音頭」ができたのをきっかけにできたおまつりです。

私は、寅さんまつりを行うために、おまつりの計画を立てたり、じゅんぴをしったりしています。おまつりが行われる帝釈天には、約3000～5000人の人が集まってくるので、帝釈天の人、参道の商店街の人、町会の人、地域の人など、約150人の人たちが協力合って、みんなでおまつりを行っています。

おまつりのじゅんぴはとても大変ですが、「寅さんまつり」は、だれでも気軽に参加できるお祭りなので、たくさんの人におまつりに来てほしいと思っています。私の願いは、おまつりを通して、柴又に住む人たちの心が一つになり、きずなが深まることです。みんなが「柴又って、いいところだな。人と人とのつながりを大切にしている場所だな。柴又に住んでいてよかったな。」と思ってくれたらうれしいです。私も柴又が大好きなので、柴又八幡神社のお祭りのように、これからもずっと「寅さんまつり」を続けていきたいと思っています。